



2017～2018 年度国際ロータリーのテーマ

●会長 白木 誠一

●幹事 古田 哲朗

## ロータリー：変化をもたらす

No.1586 平成 29 年 10 月 04 日 第 13 回例会

ロータリー：  
変化をもたらす※例会日 毎週水曜日 12:30～ <http://www.serc2720.org> email:serc@serc2720.org

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

## ■点鐘

## ■国歌斉唱

■ロータリーソング「四つのテスト」  
(ソングリーダー 鷺山法雲)

## ■来訪者紹介

(会長 白木 誠一)

卓話者 米山奨学生 盧一卉 (ロハキ) さん  
米山奨学生カウンセラー 猿渡孝敏 君 (山鹿 R C)

## ■今月の誕生日

## 【会員】

河岸 彦治 君	S.17.10.10
内田 信行 君	S.26.10.19
白石 繁 君	S.29.10.18
岡本千代門 君	S.21.10.25
松本 一也 君	S.26.10.24
山本 浩之 君	S.55.10.08

## 【夫人】

松本 照代 様	10.08
村瀬 京子 様	10.09
山田 文香 様	10.11
山本真理子 様	10.13
島村富美子 様	10.18
中島 聖子 様	10.22

## ■会長の時間 (会長 白木 誠一)

高齢者の転倒などによる事故

ガバナー月信紹介 「経済と地域社会の発展月間」

18日の敬老の日を前に、消費者庁は高齢者の事故への注意喚起をしている。

高齢者の救急搬送のうち約8割が転倒による



もので、同席は床の段差や

電源コードなどを再確認するよう要請。岡村和美長官は13日の記者会見で

「高齢者本人だけでなく、周囲の人も意識して事故を防いでほしい」と呼び掛けた。

東京消防庁管内で2011年からの5年間に救急搬送された65歳以上はおよそ27万人。1日平均148人。うち転倒が約22万人を占め、次いで転落が約3万人だった。消防庁は転倒防止策として、段差解消スロープや手すりの設置、コード配線の見直しなどを挙げる。脚立や梯子からの転落も多く、作業時に足場の状態や天候などに注意するように求めた。携帯の充電も今まではいつも通る足元の床に置いていましたが、家内から言われて、延長コードを買いベッドの頭の方へ廻しました。意識して周りを見直してみると、気づくことがたくさんあるとおもいます。

遺伝の「優性」「劣性」使うのをやめませう学会

遺伝の法則の「優性」「劣性」は使いません——。誤解や偏見につながりかねなかったり、分かりにくかったりする用語を、日本遺伝学会が改訂した。

用語集としてまとめ、今月中旬、一般向けに発売する。

メンデルの遺伝学の訳語として使われてきた「優性」「劣性」は、遺伝子の特徴の現れやすさを示すにすぎないが、優れている、劣っているという語感があり、誤解されやすい。「劣性遺伝病」と診断された人はマイナスイメージを抱き、不安になりがちだ。日本人類遺伝学会とも協議して見直しを進め、「優性」は「顕性」、「劣性」は「潜性」と言い換える。

他にも、「バリエーション」の訳語の一つだった「変異」は「多様性」に。遺伝情報の多様性が一人一人違う特徴となるという基本的な考え方が伝わるようにする。色の見え方は人によって多様だという認識から「色覚異常」や「色盲」は「色覚多様性」とした学会長の小林武彦東京大教授は「改訂した用語の普及に努める。教科書の用語も変えてほしいと文部科学省に要望書も出す予定だ」と話す。

## ■幹事報告 (幹事 古田 哲朗)



1)

永田壮一 ガバナー、河野誠男 地区青少年奉仕部門長、井上邦宏 地区青少年交換委員長より、2017-2018年度 青少年交換委員会プログラム 次年度青少年交換学生・募集案内。

交換先 アメリカ・メキシコ・欧州・オーストラリア・台湾・タイなど

対象 出発時16歳～18歳(18歳未満)の高校生男・女

次期 短期 2018年夏出発～3ヶ月以内

長期 2018年7月出発～2019年7月帰国

※申込み方法はクラブ推薦のみ(10月31日まで)

今後の行事

開催日	行事名	場所	会場	出席者
2017年 10月7日(土)・8日(日)	地区ローターアクト第33回年次大会	熊本県八代市	やつしろハーモニーホール/セレクトロイヤル八代	松本一也
10月7日(土)	職業奉仕研修セミナー	熊本県熊本市	熊本県民交流館パレア	
10月22日(日)	職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕合同フォーラム	大分県大分市	ホルトホール大分	宮川義行
10月27日(金)	第9回熊本中央ロータークラブチャリティーコンペ	熊本県上益城郡	熊本高遊原カントリークラブ	(案内中)
10月28日(土)	地区会員増強部門・新進気鋭会員セミナー	熊本県熊本市	熊本学園大学	宮川義行
11月11日(土)・12日(日)	阿蘇RC創立50周年記念式典並びに記念ゴルフ大会	熊本県阿蘇市	阿蘇リゾートグランポリオホテル・ゴルフ場	佐野茂、松本繁、宮川義行

■ロータリーの友10月号紹介

(会報・雑誌担当委員 村瀬直久)



■委員会報告

(青少年奉仕担当委員 松本一也)

- ・アクト新会員入会報告
- ・アクト活動について
- ・アクト会員紹介依頼



■委員会報告

(地区米山記念奨学委員 山田公也)

奨学金寄付協力依頼



■委員会報告

(会員増強担当委員 松本繁)

あと5名UP、45名にしたい。

10月中旬に1名入会目標。



■出席報告

(出席・プログラム担当委員 堀内健太郎)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
09月20日	40 (免2) 38	24	4	28	73.68
10月04日	40 (免2) 38	27			71.05

出席免除

09月03日 住江正治 鷲山法雲

09月27日 住江正治 坂梨友一

欠席者(10名)

09月20日 白石 繁 西村陽介 島村徹男 堤 勝也  
 内田敏視 山本浩之 山坂哲生 益田敬二郎  
 堀内健太郎 小松野正彦

今度の100%出席の日は 10月25日です。

■スマイル

(親睦・スマイル担当委員 岡本千代門)



◎猿渡孝敏 2,000円

熊本東南ロータークラブに初めて参りました。本日は米山奨学生の卓話よろしくお願ひします。

◎古庄浩二 10,000円

昨日、娘の就職の内定式が福岡で行われました。あと半年で親の手を離れます。

◎宮川義行 5,000円

10月2日、翁力棟君の奨学生卓話に山田さんと共に熊本RCを訪れました。南RCの皆さんからは温かく迎えてもらい、大変有意義な1日でした。翁君の落ち着いた卓話には感心しました。出席44名でテーブルも7テーブル、賑やかな例会でした。同じ地区委員の丸山君や寿崎さん、私の大連の店によく来て頂いていた方も久しぶりにお会いできて、とても嬉しかったです。次は24日、西RCの予定です。翁君頑張ってください。

◎村瀬直久 5,000円

カミさんの誕生祝い、ありがとうございます。いくつになったのでしょうか？

◎内田信行 5,000円

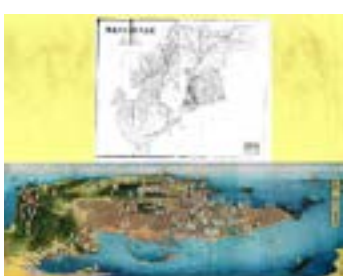
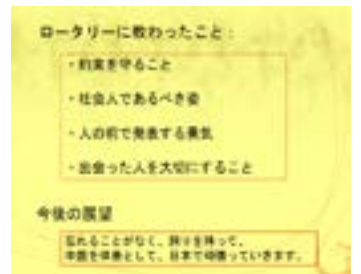
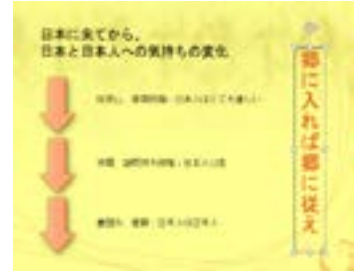
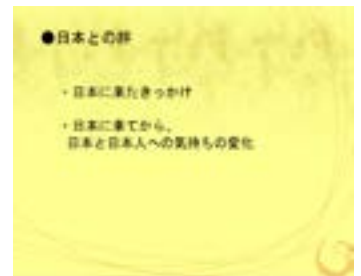
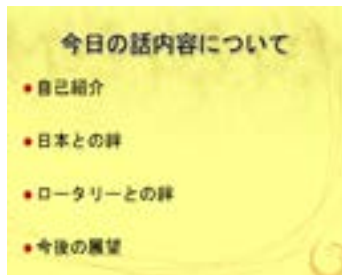
今日は自分の誕生日月に欠席して申し訳ありません。夜の直前ガバナール補佐・会長・幹事慰労会には出席します。

米山奨学生卓話

「ロータリーとの絆」

蘆一卉さん(中国) 熊本県立大学 環境共生学

スポンサークラブ：山鹿RC、猿渡孝俊 カウンセラー



## 今年もゲイツ財団で開催：世界ポリオデー特別イベント

世界ポリオデー（10月24日）に合わせた今年の特別イベントは、シアトルに本拠を置くビル＆メリンダ・ゲイツ財団による主催の下、はじめてアメリカ西海岸で催されることとなりました。ゲイツ財団は、ロータリーと同じく、世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）の主要パートナーの一つとなっています。

現地時間の14:30に開始され、生中継でインターネット配信されます（日本時間は25日午前6:30～）。また、後日にその録画（日本語通訳付き）を見ることもできます。

このイベントでは、ゲイツ財団CEOのスー・デズモンド・ヘルマン氏が、ポリオ撲滅キャンペーンの進捗について話をします。今年報告された野生型ポリオウイルスによる発症件数は11件のみに抑えられており、また、発症国もパキスタンとアフガニスタンの2カ国に留まっています。



マン氏が、ポリオ撲滅キャンペーンの進捗について話をします。今年報告された野生型ポリオウイルスによる発症件数は11件のみに抑えられており、また、発症国もパキスタンとアフガニスタンの2カ国に留まっています。

6月にアトランタで開催された2017年ロータリー国際大会では、ビル・ゲイツ氏が、ポリオ撲滅活動におけるロータリーとのパートナーシップを継続することを発表しました。これにより、ロータリーのポリオ撲滅寄付に対してゲイツ財団が倍額を上乗せするマッチング方式が今後も継続されます（[詳しくはこちらの記事をご覧ください](#)）。

このイベントでは、次の方々による参加・講演も予定されています。

ジェイ・ウェンガー（ゲイツ財団のポリオ撲滅活動ディレクター）  
ヘイドリン・ディーン・ロース（国際ロータリー副会長）  
ジョン・セナ（ロータリーのポリオ撲滅大使）  
ティワ・サヴェージ（ロータリーのポリオ撲滅大使）  
エイド・アデピタン（パラリンピアン、ポリオサバイバー）  
ジェフリー・クルーガー（『Time』誌シニアエディター）

クラブのポリオ撲滅活動を報告にご協力ください

ロータリーでは、世界各地の会員によってポリオ撲滅活動が実施されており、昨年の世界ポリオデーに合わせて、90カ国から1400件以上の活動情報が報告されました。今年も各地からの情報を集めておりますので、[オンライン](#)、またはEメール（[globalcommunications@rotary.org](mailto:globalcommunications@rotary.org)）で活動情報をご提供いただけますようお願い申し上げます。日本からも既に100件を超える多くの報告が寄せられています。

- [こちらから簡単に活動情報を提出できます](#)
- [活動マップ](#)
- ハッシュタグ（#endpolio）でメッセージ拡散にご協力ください
- [さまざまなポリオ関連リソース](#)

## ロータリーが被災者を支援

ハリケーンや地震などの災害が各地で発生する中、各地のロータリークラブが被災地域で支援活動にあたっています。

ご寄付の方法

ロータリー財団は、ハリケーンと地震の被災者のための寄付を受け付ける3つの使途推奨冠名基金を設置しました。

メキシコ地震

アカウント名：Mexico Earthquake Recovery Fund

アカウント番号：613

ハリケーン「ハービー」

アカウント名：Gulf Coast Disaster Relief Fund

アカウント番号：608

ハリケーン「イルマ」と「マリア」

アカウント名：Hurricane Emergency Relief Fund

アカウント番号：296

ご寄付は小切手、銀行振込、クレジットカードでのオンライン寄付で受け付けています。ご寄付の際に上記のアカウント名とアカウント番号をご明記ください。クレジットカードでのご寄付の領収証をご希望の場合は、住所欄のボックスに印をつけて住所をお知らせください。

[詳しいご寄付方法はこちらをご覧ください（英語）](#)。

「財団が世界中から寄付を募り、地元のクラブが迅速に救援活動にあたる。これこそロータリーの力です」と、アーリントン・ロータリークラブ（米国テキサス州）会員のドン・メーバスさんは話します。

強大な地震が発生したメキシコでは、建物や高速道路が破壊され、何百人もの犠牲者が出ました。ハリケーン「ハービー」「イルマ」「マリア」による壊滅的な被害は、復興に数十億かかると推定されています。

シエラレオネ、バングラデシュ、インド、ネパールでは、集中豪雨と土砂崩れによって大きな被害が出ています。

ロータリーのパートナー組織である[シェルターボックス](#)も、これらの災害で避難生活を余儀なくされた家族に支援を提供しています。

支援方法は[relief@rotary.org](mailto:relief@rotary.org)までお問い合わせください。クラブによる被災地支援活動については、[ロータリー アイデア応援サイト](#)をご覧ください。